

商品情報多言語フィジビリティ・スタディ・プロジェクト報告

2017年7月7日  
製・配・販連携協議会  
商品情報多言語フィジビリティ・スタディ・プロジェクト

## 目次

---

1. 商品情報多言語ワーキンググループの検討（2015年度）
2. 2016年度実施概要
3. 本格運用に向けて

---

## 1. 商品情報多言語ワーキンググループの検討（2015年度）

3

---

### 1. 商品情報多言語ワーキンググループの検討（2015年度） 背景と経緯

---

- 訪日外国人客は、2015年には1,974万人に達し、「明日の日本を支える観光ビジョン」において、2020年に4,000万人、2030年に6,000万人の目標が設定された。訪日外国人客の旅行消費額に占める買い物代の割合は、約38%\*を占め、訪日外国人客の増加に伴って、買物消費額も、大幅な増加が見込まれる。こうした中で、**訪日外国人客が、日本でショッピングをする際には、言語の問題（説明・価格表示）で不満や心配を感じるケースが多い。**

\*：「訪日外国人の消費動向 平成29年1-3月期 報告書」国土交通省 観光庁 より

- そこで、製・配・販連携協議会・商品情報多言語WGでは、こうした不満点を軽減し、買物需要を一層拡大すべく、商品情報多言語化に関する検討を通じて、基本的な考え方としてまとめた。
- 検討に際しては、既に多言語化の仕組みを提供している小売業・製造業の事例研究、「日用品のインバウンド消費を拡大させる意識と行動」などの調査結果の情報共有、ジャパンショッピングツーリズム協会などの有識者の講演内容などを参考にした。
- さらに、商品情報を多言語で提供するための、製・配・販が連携した共通インフラの構築・運用のあり方について検討し、この**共通インフラを実際に構築し、実証実験**する計画をとりまとめた。

4

1. 商品情報多言語ワーキンググループの検討（2015年度）  
検討にあたっての考え方

---

1. 訪日外国人客の買い物時の不満点解消
  - 何のカテゴリの商品か？（多言語対応要）
  - 商品特長、使用上の注意点は？（多言語対応要）
  
2. メーカー発信の正確な商品情報伝達
  - 薬事法に抵触しない情報発信
  - 製造物責任法（PL法）に基づく損害賠償請求の制御
  
3. 製・配・販間のスムーズでタイムリーなデータ交換
  - 個別のやり取りによる作業負荷の削減
  - 既存の日本語業界DBと連携した情報の一元化

5

---

2. 2016年度実施概要

6

## 2. 2016年度実施概要 取組概要

- 2016年度は実証実験参加の有志企業によりプロジェクトとして活動を継続

年 度	取 組 概 要	内 容
2015年度	【商品情報多言語ワーキンググループ】 基本的な考え方の整理	- 対応言語、提供内容項目 - 共通インフラ基盤の方向性など
2016年度	【商品情報多言語フィジビリティ・スタディ・プロジェクト】 店頭実証実験	- 多言語対応用データプール環境開発 - モバイル端末用アプリ開発 - 店頭実証実験

7

## 2. 2016年度実施概要 参加企業

- 商品情報多言語フィジビリティ・スタディ・プロジェクト参加企業（製配販別五十音順）

### 【製造業】

味の素株式会社  
花王株式会社  
佐藤製薬株式会社  
資生堂ジャパン株式会社  
第一三共ヘルスケア株式会社  
大正製薬株式会社  
武田コンシューマーヘルスケア株式会社  
プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社  
ライオン株式会社  
ロート製薬株式会社

### 【卸売業】

伊藤忠食品株式会社  
国分グループ本社株式会社

### 【小売業】

イオンリテール株式会社  
株式会社ファミリーマート  
株式会社マツモトキヨシホールディングス

計15社

8



## 2. 2016年度実施概要

### 実証実験 多言語アプリ画面例（中国語簡体字の場合）

- メーカーホームページに多言語詳細情報がある場合はメーカーホームページにリンクする



11

## 2. 2016年度実施概要

### 実証実験 実施内容

#### <実施時期>

- 2016年9月～10月 : 実証実験要件整理、システム開発、データ登録など
- 2016年11月 : 店頭実証実験
- 2016年12月～2017年3月 : 報告書作成、評価など

#### <実験小売店舗での対象アイテム>

- ・対象アイテム : 実験店舗の全商品（業界DB+小売業商品マスタ）
- ・実施小売業 : ドラッグストア（マツモトキヨシ都内1店舗）  
コンビニエンスストア（ファミリーマート都内1店舗）

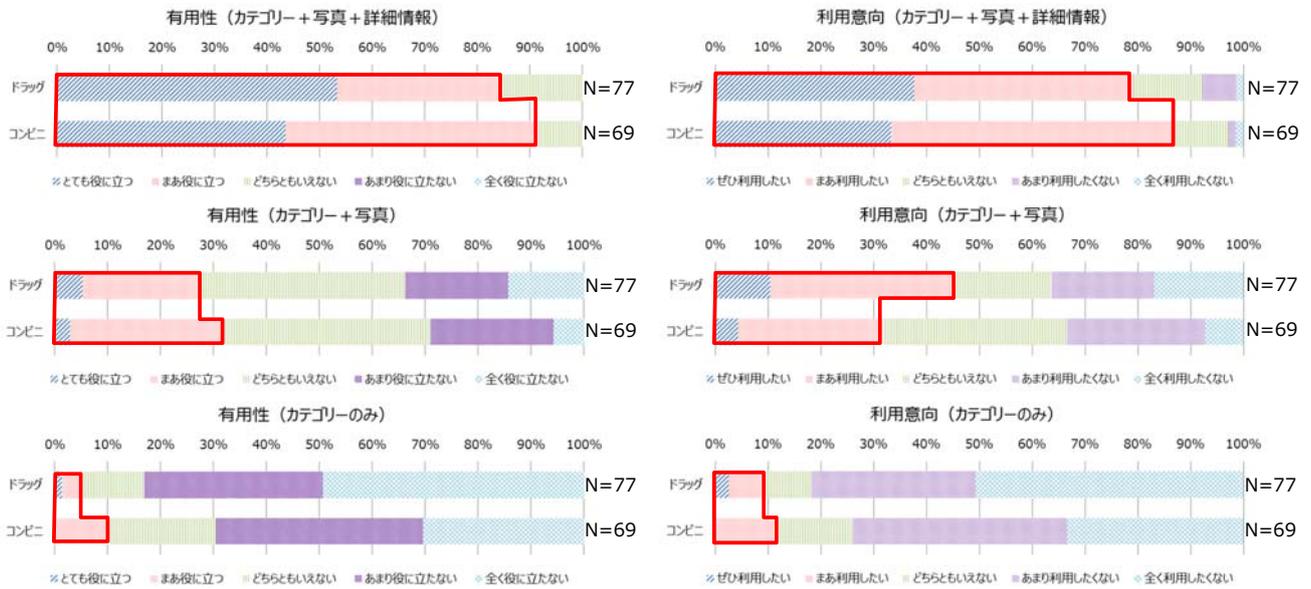
#### <実施事項>

- ・実証実験環境の整備・運用（データプール環境の開発、モバイル端末用アプリの開発、実証実験環境の整備とデータ更新）
- ・モバイル端末用アプリの配布（iOS/Android公式アプリとして一般公開）
- ・店頭案内（アプリ入手方法／操作方法／アンケート協力依頼など）
- ・アンケート（店頭にて訪日中国人調査）
- ・アクセスログの収集、報告書の作成など

12

## 2. 2016年度実施概要 実証実験 店頭アンケート結果

- カテゴリ名＋写真＋商品詳細情報の表示については、両業態とも8割以上が「とても役に立つ」「まあ役に立つ」と有用性を評価し、8割弱以上が「ぜひ利用したい」「まあ利用したい」と利用意向を持ち、**好評であった**。
- カテゴリ名＋写真 と カテゴリ名のみ の表示については有用性、利用意向とも低くなることから、**詳細情報整備の重要性**が分かった



13

## 3. 本格運用に向けて

### 3. 本格運用に向けて 年度別スケジュール

■ 実証実験の好結果を受けて2019年・2020年の本格運用を見据えた実証運用を進める

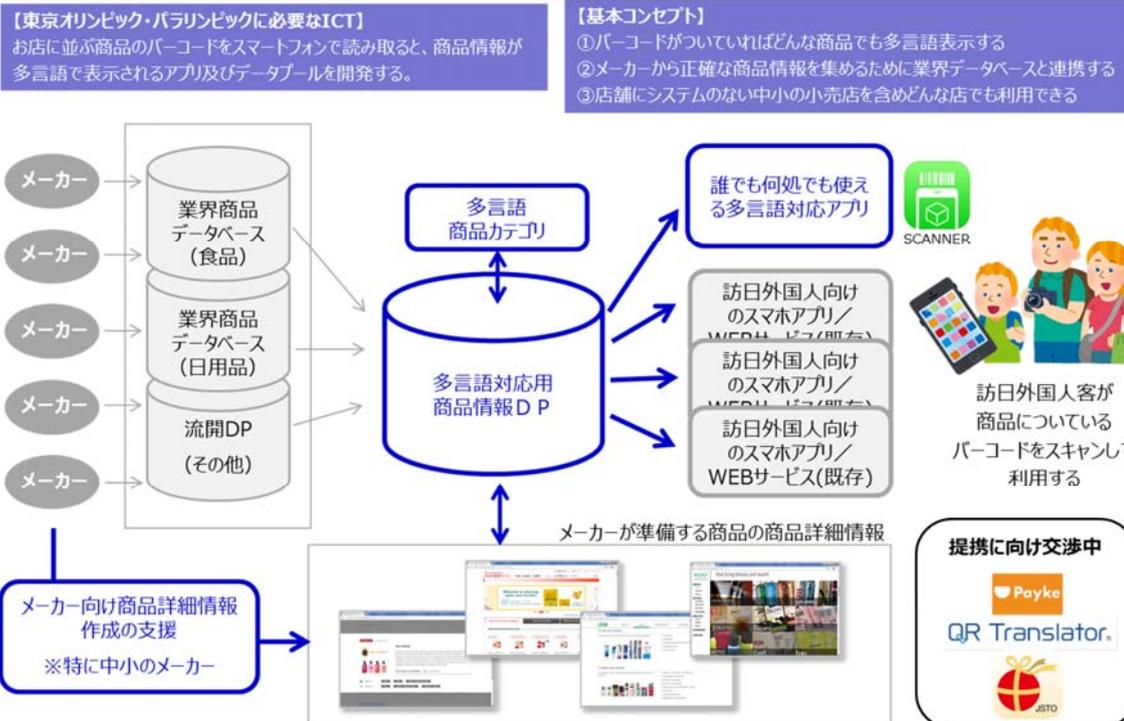
年度	取組概要	内容
2015年度	【商品情報多言語ワーキンググループ】 基本的な考え方の整理	- 対応言語、提供内容項目 - 共通インフラ基盤の方向性など
2016年度	【商品情報多言語フィジビリティ・スタディ・プロジェクト】 店頭実証実験	- 多言語対応用データプール環境開発 - モバイル端末用アプリ開発 - 店頭実証実験
2017年度	【事業化】 本格運用の開始	- 本番環境開発 - 運用体制の検討
2018年度	機能拡充	
2019年度	ラグビーワールドカップ2019 日本大会向けに展開	
2020年度	2020年東京オリンピック・パラリンピック 競技大会向けに展開	- 500社以上の商品登録（目標）

15

### 3. 本格運用に向けて 事業概要

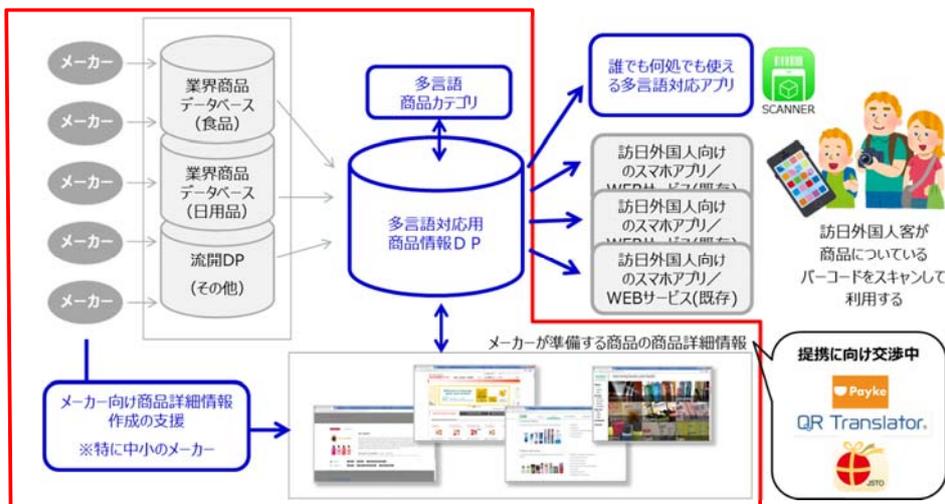
■ 訪日外国人客向けの多言語での商品情報提供

(信頼できるベンダーに商品情報を提供したい) 商品情報を適切に取扱できると認定した業者を「プロジェクト認定アプリベンダー」とし、それ以外のベンダーへの多言語DPからの情報提供はいたしません。



16

### 3. 本格運用に向けて 事業内容①



#### ■ 商品情報の拡充

- 商品基本情報（日本語）は、業界データベースと連携 （無料）
  - 業界データベースへの登録推進
  - 業界データベースの無い業界は、開発予定の流開D Pに登録推進
- 多言語商品詳細情報は、メーカーホームページ等にリンク （有料）
- 商品詳細情報の多言語化の支援 （別途料金）

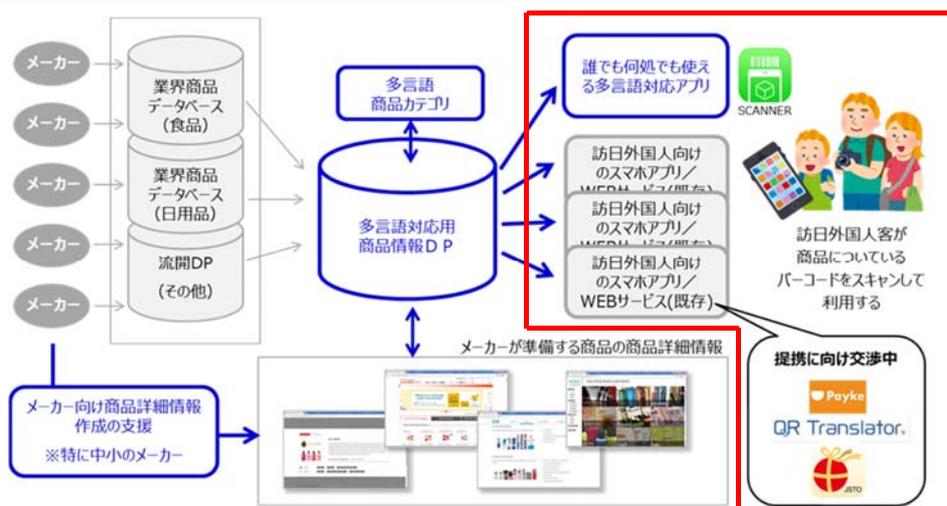
入会費（20万円）  
年会費（10万円）

※入会費・年会費は運用維持にかかる諸経費などに充当

※実証実験結果から、当事業の成否は「カテゴリー + 写真 + 詳細情報」のフルセットの充実にかかっています

17

### 3. 本格運用に向けて 事業内容②



#### ■ 商品情報へのアクセス・ルートの拡充

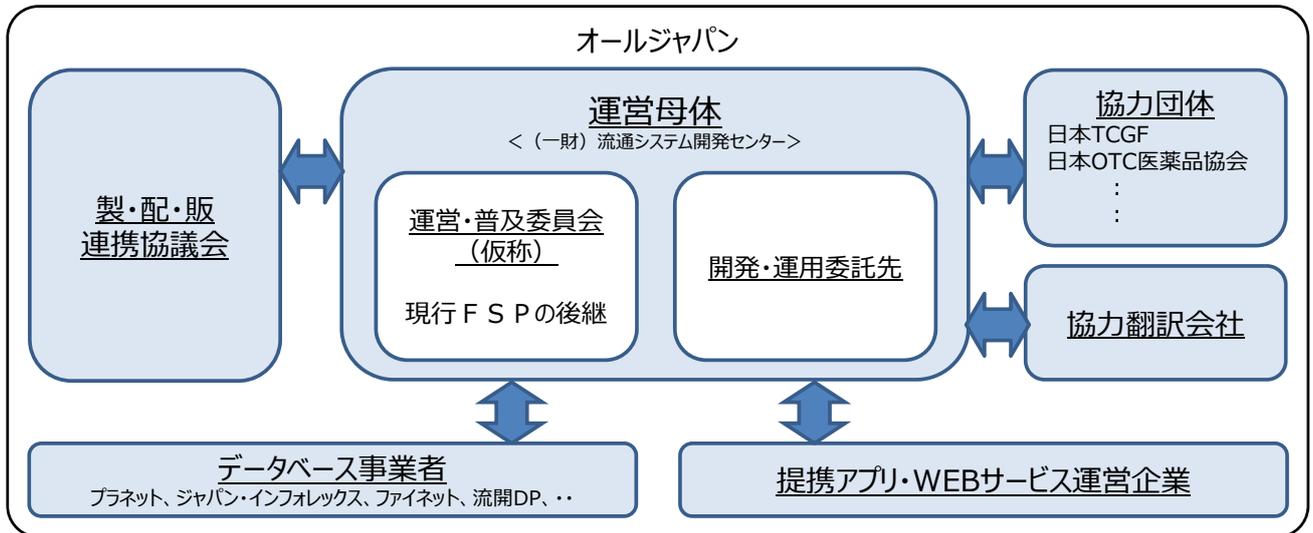
- 今回の実証実験で作成したアプリを業界アプリとして普及推進
- 既存の個別アプリやWEBサービス、店頭サービスにも一定条件で多言語商品情報D Pを開放

※既存アプリのダウンロード数は、数十万レベルと想定しています

18

### 3. 本格運用に向けて 運用体制

- 運営・運用体制：
  - 運営母体、開発・運用委託先、データベース事業者、提携アプリ運営企業
- 普及推進体制：
  - 運営・普及委員会、製・配・販連携協議会、協力団体、データベース事業者
- 協力体制：
  - データベース事業者、提携アプリ運営企業、協力翻訳会社



19

### 3. 本格運用に向けて 参加案内

- 商品登録の拡充を目指し、まずはメーカー系団体へ案内し、参加を募る予定
- 案内予定団体候補

- (一社) 日本衛生材料工業連合会
- 日本OTC医薬品協会
- 日本化粧品工業連合会
- 日本石鹼洗剤工業会
- 日本歯磨工業会
- 全日本菓子協会
- 酒類加工食品企業間情報システム研究会(F研)
- 日本ハム・ソーセージ工業協同組合
- (一社) 日本パン工業会
- 日本缶詰びん詰レトルト食品協会
- 全国清涼飲料工業会
- 日本即席食品工業協会
- 日本冷凍食品協会
- 全国酒類協同組合連合会
- 全日本カレー工業共同組合
- 日本家庭用洗剤工業会
- 日本TCGF

案内用資料（詳細版・要約版）を用意しております



製・配・販連携協議会参加企業各社様のご参加をよろしくお願い致します

20